

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院

National Center for Global Health and Medicine
<http://www.ncgm.go.jp/>

発行 連携医療ネット

住所 東京都新宿区戸山1-21-1

代表 TEL 03-3202-7181

FAX 03-3207-1038

地域医療連携室

直通 TEL 03-3202-8066

FAX 03-3202-1003



連携医療NEWS

Vol.44 5月号

新任のあいさつ

理事長

國土 典宏



国立研究開発法人国立国際医療研究センターの理事長を拝命いたしました。国立研究開発法人として、研究成果の最大化に向けて、全力で務めたいと考えています。

当センターは、国立高度専門医療研究センターの一つですが、明治元年に山下門内に設置された兵隊假病院にそのルーツを発し、その後、国立東京第一病院、そして国立病院医療センターとなり、幾度かの組織合併、再編等を経て、平成27年4月からは独立行政法人の一形態である国立研究開発法人 国立国際医療研究センターとなりました。現在は研究所、センター病院、国府台病院、臨床研究センター、国際医療協力局、国立看護大学校など多様な組織から構成されております。

国立研究開発法人は、健康・医療戦略推進法に定める基本理念にのっとり、先端的、学際的又は総合的な研究、すなわち医療分野の研究開発及びその成果の普及並びに人材の育成に積極的に努めなければなりません。これまで春日前理事長が取り組みを進めてきた、感染症、糖尿病・代謝性疾患、肝炎・免疫疾患ならびに国際保健医療協力に加えて、平成28年度にはメディカルゲノムセンター（MGC）、グローバルヘルス政策研究センター（iGHP）を、また、平成29年度にはAMR臨床リファレンスセンター（AMRCRC）を創設しました。これらはいずれも“研究開発”を実践するためのものです。診療の面では、戸山キャンパスにあるセンター

内容

- ・新任あいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- ・新任あいさつ
旬の味覚・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
- ・新任あいさつ
看護通信・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
- ・医師人事異動・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

病院と国府台病院併せて1,223床の総合医療を提供できる病院を有しています。全ての診療分野で専門的スタッフが揃う当センターの強みを生かして高リスク患者、高齢患者の医療にも取り組んでいます。

当センターの重点分野の1つである“国際保健医療協力”をセンター全体で取り組む、という視点から平成26年度には「NCGMのグローバル医療戦略」を策定しました。当センターの既に培われた世界的に見ても質の高い医療水準をさらに向上致します。さらに、

1. 総合医療を基盤とした各診療科の高度先駆的な診療機能の強化
 2. 国際的に通用する臨床医学研究・先端医療開発の推進
 3. 明日の医療、看護および臨床医学研究を担う医療人の育成
 4. 保健医療のシンクタンク機能のさらなる充実
 5. 病院の国際化推進
- を図って参ります。

また、平成32年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。外国人の患者さんにも一層受診して頂きやすく、併せて、医療の質と安全の面において国際水準を満たす病院を目指し、その一環として平成27年にセンター病院がJMIP（外国人患者受入れ医療機関認証制度）を取得しました。外国人のための療養環境を整えることは、自国民にとってもその原点を見直すことになり、よりよい快適な療養環境の提供に直結するものと考えております。

当センター一丸となって、国際水準の医療を提供しながら研究開発を推進し、わが国のみならず国際保健の向上のために、さらなる努力を積み重ねてまいります。

血液内科診療科長

中村 文彦



平成29年4月1日付で、国立国際医療研究センター血液内科に着任しました。昨年度まで、東京大学医学部附属病院で臨床と研究に従事しておりました。

血液内科では、血球や凝固の異常などをきたす良性疾患および、白血病・悪性リンパ腫・骨髄腫などの悪性疾患（血液がん）を対象としています。血液がんの治療は、従来の化学療法や造血幹細胞移植に加えて、近年は多くの分子標的薬が登場して、選択肢が多様化しました。治療の多くは入院で行いますが、当科の病棟は易感染状態の患者様を治療する防護環境が充実しています。病棟全体がクリーンルームで構成されており、同種造血幹細胞移植が実施可能な個室を4床有しています。当院は日本骨髄バンク

クの移植認定施設であり、バンクドナーからの同種造血幹細胞移植を実施しています。また、再発・難治性低悪性度B細胞リンパ腫を対象に、放射免疫療法を実施しております。副作用が比較的軽度な一部の化学療法や分子標的療法は、外来通院で実施しています。

血液内科領域の治療は進歩が著しく、次々に新しいエビデンスが創出されています。私たちスタッフは、最新のエビデンスに基づいた最適な治療法を提供すべく、日々努力いたします。連携医療機関の先生方や、本パンフレットをお読みになる先生方におかれましては、精査加療を要すると思われる血液疾患の患者様がいらっしゃいましたら、ぜひ気軽にご相談ください。

最後に、血液内科に患者様をご紹介いただく先生方にお願いがございます。外来の混雑状況によって、初診の患者様をお待たせする場合があります。できるだけ待ち時間を短縮するよう配慮しておりますが、患者様に予めお伝えいただければ幸いです。今後ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

旬の味覚 ソラマメ ~そらまめご飯~

管理栄養士

富井 三恵



ソラマメは、莢(さや)が空に向けて上向きに実ることから「空豆」、蚕が作るまゆの形に似ていることから「蚕豆」と書かれると言われるマメ科ソラマメ属の植物です。未熟うちに収穫する青果用(野菜)と、完熟したものを乾燥させて使う種実用(豆類)とがあり、煮豆や甘納豆などにします。栽培の歴史は古く、古代エジプトでも作られていたとされます。美味しいソラマメは、莢(さや)の緑色が鮮やかでつやのあるものを選ぶと良いでしょう。「美味しいのは収穫して3日間だけ」と言われるほど時間がたつと味が落ちるため、購入後はすぐに調理を行う、莢(さや)から出すのは調理直前にするようにしましょう。栄養成分では、たんぱく質、ビタミンB1、B2、C、カリウムなどが含まれます。

今回紹介する「そらまめご飯」のレシピでは、ご

飯の炊きこみにソラマメの茹で汁を使用しているため、ソラマメの香りが楽しめます。

○材料○ (約4人前: 200g)

米2合
※塩小さじ1/2
※水2カップ
酒 大さじ1
昆布 1g
ソラマメ125g
(莢付きで約400g)
チリメンジャコ20g
胡麻 大さじ1

(栄養量: 1人前)

エネルギー330kcal 塩分1.1g

○作り方○

1. ソラマメを莢(さや)から出し、薄皮をつけたまま※の茹で汁で2~3分程塩茹でする。(黒い部分の反対側に浅く切り込みを入れると、塩分がまわりやすくなり、食べる時にも実を出しやすくなる)
2. ソラマメはザルに上げて薄皮をむく。塩茹でした茹で汁はボウルにとっておく。
3. 研いだ米に、炊飯2合目盛りまで分量の茹で汁を注ぎ、酒、昆布を入れて炊飯する。
4. フライパンを熱し、チリメンジャコ、胡麻を弱火でじっくり炒める。
5. ご飯が炊けたら、昆布を除き、茹でソラマメ、炒ったチリメンジャコ、胡麻を入れ、さっくり混ぜる。



心療内科診療科長

菊地 裕絵



平成29年4月1日より心療内科に着任いたしました菊地裕絵です。まずは、心療内科がどのような科か、少しご紹介したいと思います。「身体症状があるけれども身体的な異常はなく、心理的要因が疑われる病態をみる」というイメージが多いかもしれませんが、これと混同されやすい「心身症」という病態が、心療内科が診療の対象とする主な病態の一つとして挙げられます。これは身体疾患の発症や経過に心理社会的因子が密接に関与している病態のことで、身体疾患患者の中の、通常の治療で十分に反応しない患者の中に隠れていることが多い病態です。過敏性腸症候群や糖尿病などでこのような病態をとる患者さんに遭遇された方も多いと思います。このほかに、身体疾患患者の心理的サポー

トや、生活習慣病に対する行動変容、摂食障害診療等、守備範囲は多岐にわたっていますが、いずれも生物・心理・社会の多角的な視点で全人的な診療を行うことが特徴です。

私自身の自己紹介もさせていただくと、東京大学医学部心療内科の出身で、前職は国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所心身医学研究部心身症研究室長を7年間勤めていました。この間、緊張型頭痛（心身症）や肥満症・摂食障害の食行動に関する研究に従事するとともに、サイコオンコロジー領域の臨床や摂食障害診療の体制整備にかかわる事業など、様々な内容に従事してまいりました。これまでの経験を活かし、広く心療内科一般の診療を行うとともに、肥満症や摂食障害に対する認知行動療法などの専門性の高い治療も提供していければと考えております。地域の医療従事者の皆様と連携しながら質の高い医療を提供できるよう尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



看護通信

地域連携室大幅拡充しました。

4月より、退院調整をより充実し、患者様が安心して安全・安楽に療養を続けられるよう入院直後から、退院後の療養環境について相談ができるよう、また国指定の地域がん診療連携拠点病院として、患者様の相談に十分お答えできるよう、ソーシャルワーカー8名と看護師1名が増員されて、4月1日より総勢24名の多職種チームで活動を開始しました。新人の加入もあり、まだまだ十分とはいえませんが、地域の皆様とは顔のみえる、シームレスな関係性を充実し、地域医療に貢献できるよう努力したいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



医師人事異動

採用・転入・昇任等				退職・転出等			
発令日	役職名	氏名	備考	発令日	役職名	氏名	備考
H29.4.1	腫瘍診療科診療科長	山田 康秀		H29.3.31	心療内科診療科長	苅部 正巳	
H29.4.1	心療内科診療科長	菊地 裕絵		H29.3.31	血液疾患特任診療部長 血液内科医長	三輪 哲義	
H29.4.1	血液内科診療科長	中村 文彦		H29.3.31	血液内科診療科長	萩原 将太郎	
H29.4.1	泌尿器科医長	熊谷 仁平		H29.3.31	眼科診療科長	片井 直達	
H29.4.1	新生児科医長	水上 愛弓		H29.3.31	泌尿器科医長	山田 大介	
H29.4.1	感染症内科医師	石金 正裕		H29.3.31	新生児科医長	細川 真一	
H29.4.1	感染症内科医師	森岡 慎一郎		H29.3.31	皮膚科医師	鈴木 大介	
H29.4.1	脳神経外科医師	柳澤 俊介		H29.3.31	消化器内科医師	櫻井 俊之	
H29.4.1	放射線診断科医師	亀井 俊佑		H29.3.31	放射線診断科医師	村上 佳菜子	
H29.4.1	糖尿病内分泌代謝科医師	坊内 良太郎		H29.3.31	小児科医師	山田 律子	
				H29.3.31	小児科医師	大熊 香織	
				H29.3.31	外科医師	佐藤 雄	
				H29.3.31	血液内科医師	谷村 聡	
				H29.3.31	血液内科医師	平井 理泉	
				H29.3.31	ACC科医師	西島 健	
				H29.4.14	泌尿器科医師	野崎 圭夏	
				H29.4.30	麻酔科医長	高松 功	
				H29.4.30	外科医師	杉浦 良子	

外来診療時間 8:30~17:15

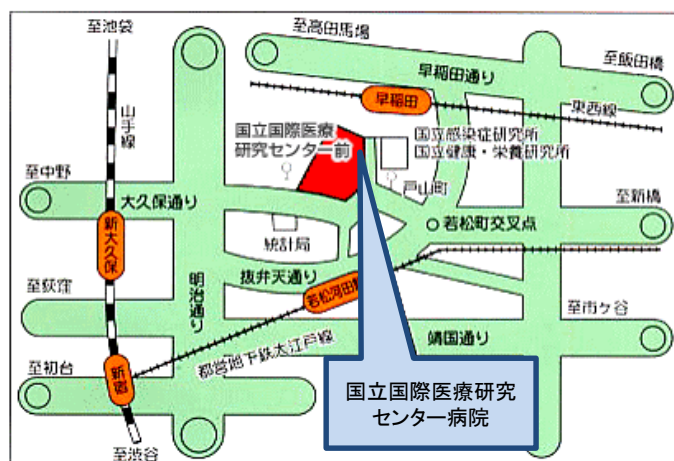
・初診受付 紹介状が無い場合 8:30~11:00
紹介状がある場合 8:30~14:00

ただし、形成外科、産婦人科、神経内科、整形外科、精神科、リハビリテーション科の6科および結核(疑いも含む)については「11時までの受付」となっています。

・休診日 土・日・祝日・年末年始

アクセス

- ・都営地下鉄 大江戸線「若松河田駅」より徒歩5分
- ・東京メトロ 東西線「早稲田駅」2番出口より徒歩15分
- ・JR大久保駅又は新大久保駅より都営バス「新橋」行 国立国際医療研究センター前 下車
- ・新宿駅西口より都営バス「医療センター経由女子医大」行 国立国際医療研究センター前 下車



国立研究開発法人

国立国際医療研究センター病院

TEL 03-3202-7181

FAX 03-3207-1038

〒162-8655

東京都新宿区戸山1-21-1

ホームページ

<http://www.ncgm.go.jp/>

